

重症心身障害児者の地域生活モデル事業報告書の作成について

平成26年度重症心身障害児者の地域生活モデル事業実施団体におかれましては、事業報告書（案）（別紙様式）を提出していただくこととなりますが、当該報告書が単なる補助事業の事業実績報告ではなく、重症心身障害児者のための地域生活支援を実施するために、他団体等で幅広く活用されるよう、取組みの具体的なノウハウをまとめていただくという観点から、必ず、以下の点を踏まえて別紙様式を作成されるようお願いいたします。

- 以下の項目について、事業への取組みの報告を作成してください。
- 25ページ以内（参考資料込み）で作成してください。なお、25ページを超えてしまう場合、事務局にご連絡願います。

1. 事業目的

- ・モデル事業全般を通して、どのような目的意識をもって取り組んだのか。

2. 地域の現状と課題

- ・モデル事業実施に当たって、地域の資源等の状況はどうだったか。

*対象地域の資源の状況を地図上に図示することが望ましい。

3. モデル事業の取組み

1) 協議の場の設置、コーディネーターの配置

- ・協議の場を設置するまでの経緯、活動方針、活動状況を記す。
- ・協議の場の構成機関・職種を一覧で示す。*個人情報保護の観点から氏名は記載しない。
- ・コーディネーターするにはどのような役割を期待したか。
- ・コーディネーターするにはどのような職種を充てたか。
- ・コーディネーターする者はどのようなことを実施したか。

2) 重症心身障害児者及びその家族を支援することを目的とした事業

- ① 背景
- ② 実施内容
- ③ 結果
- ④ 効果があった点
- ⑤ 苦労した点、うまくいかなかった点

⑥ 課題

4. モデル事業の実施スケジュール

- 今回のモデル事業の取組み経緯をタイムスケールに記入する。

5. 今後の展開

- モデル事業終了後、本事業の成果をどのように次の展開につなげていくか。

6. 参考資料

- 事業で作成したアンケート結果や事業の様子がわかる写真やイベントチラシ画像等。
- 参考資料のページ設定は段組みをしなくてもよい。

以上